

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公開番号】特開2008-65660(P2008-65660A)

【公開日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-011

【出願番号】特願2006-243775(P2006-243775)

【国際特許分類】

G 06 K 19/07 (2006.01)

B 65 D 23/12 (2006.01)

B 65 D 25/20 (2006.01)

【F I】

G 06 K 19/00 J

G 06 K 19/00 H

B 65 D 23/12 P

B 65 D 25/20 P

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月4日(2009.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】センサ装置及び容器類

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の基体に、外部装置から送信される電磁波を受信する第1のアンテナと、前記第1のアンテナと電気的に接続される第2のアンテナとを有し、

第2の基体に、前記第2のアンテナと電磁結合する第3のアンテナと、前記第3のアンテナが受信した電磁波を整流して電力として蓄える蓄電部と、前記蓄電部から供給される電力で動作するセンサ部とを備えたことを特徴とするセンサ装置。

【請求項2】

第1の基体に、外部装置から送信される電磁波を受信する第1のアンテナと、前記第1のアンテナが受信した電磁波を整流して電力として蓄える蓄電部と、前記蓄電部から供給される電力を変調して送電する第2のアンテナとを有し、

第2の基体に、前記第2のアンテナと電磁結合する第3のアンテナと、前記第3のアンテナが受信した電磁波を整流した電力で動作するセンサ部とを備えたことを特徴とするセンサ装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2において、前記第1のアンテナは、多周波共用アンテナであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項4】

外部装置から送信される電磁波を受信するアンテナと、前記アンテナで受信した電磁波を

電力に変換して蓄積する蓄電部と、第1のコイルアンテナとを有する第1の基体と、
対象物の物理量を検出するセンサ部と、第2のコイルアンテナを有する第2の基体とを有し、

前記第1の基体と前記第2の基体との間の通信及び電力の授受を、電磁結合する前記第1のコイルアンテナ及び前記第2のコイルアンテナによって行うことを特徴とするセンサ装置。

【請求項5】

外部装置から送信される電磁波を受信するアンテナと、第1のコイルアンテナとを有する第1の基体と、

対象物の物理量を検出するセンサ部と、前記アンテナで受信した電磁波を電力に変換して蓄積する蓄電部と、第2のコイルアンテナとを有する第2の基体とを有し、

前記第1の基体と前記第2の基体との間の通信及び電力の授受を、電磁結合する前記第1のコイルアンテナ及び前記第2のコイルアンテナによって行うことを特徴とするセンサ装置。

【請求項6】

請求項4又は請求項5において、

前記アンテナは、多周波共用アンテナであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項7】

請求項1乃至請求項6のいずれか一項において、

前記蓄電部はコンデンサで構成されていることを特徴とするセンサ装置。

【請求項8】

請求項7において、

前記コンデンサは電気二重層コンデンサであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項9】

請求項1乃至請求項8のいずれか一項において、

前記第1の基体と前記第2の基体は分離されていることを特徴とするセンサ装置。

【請求項10】

請求項1乃至請求項9のいずれか一項において、

前記第1の基体と前記第2の基体は、一部が重畠していることを特徴とするセンサ装置。

【請求項11】

本体の外装部に、電磁波を受電する第1のアンテナと、

前記第1のアンテナと電気的に接続する第2のアンテナを有する第1の基体と、

前記本体の内側に、前記第2のアンテナと電磁結合する第3のアンテナと、

前記第3のアンテナによって生じた誘導起電力を整流した電力を蓄積する蓄電部と、

前記蓄電部から電力の供給を得て動作する中央演算処理部と、前記中央演算処理部に信号を入力するセンサ部とを有する第2の基体とを備えたことを特徴とする容器類。

【請求項12】

本体の外装部に、電磁波を受電する第1のアンテナと、

前記第1のアンテナと電気的に接続する第2のアンテナと、

前記第1のアンテナが電磁波を吸収することによって生じた誘導起電力を整流した電力を蓄積する蓄電部と、

前記蓄電部から電力の供給を得て動作する中央演算処理部を有する第1の基体と、

前記本体の内側に、前記第2のアンテナと電磁結合する第3のアンテナと、

前記蓄電部から電力を供給されて動作するセンサ部とを有する第2の基体とを備えたことを特徴とする容器類。